

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-26 名越クリーンセンター収集業務 □支援部門						
主管課	環境センター(名越クリーンセンター)	関連課	環境部内各課・管財課				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	収集の効率化。燃やすごみの減量化。(生ごみの資源化及び循環資源の再利用、再生利用)						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	103,596人	103,718人	103,703人			
運営資源状況	決算値(千円)	16,903	20,075	21,252			
(国・県)							
(負担金等)							
(一般財源)	16,903	20,075	21,252				
人員配置数	58.8	60.8	64.8				
人件費(千円)	487,121	544,107	583,925				
協働のパートナー	自治・町内会長 廃棄物減量化推進員	自治・町内会長 廃棄物減量化推進員	自治・町内会長 廃棄物減量化推進員				
事務事業運営経費	総事業費(千円)	504,024	564,182	605,177			
	市民1人当りの経費(円)	2,844	3,184	3,416			
	対象者1人当りの経費(円)	4,865	5,440	5,836			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
燃やすごみの年間収集量	◎	目標値	15,000.00t	15,000.00t	14,800.00t	14,600.00t	11,544.00t
		実績値	14,995.73t	14,841.05t	14,768.74t	14,545.98t	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
名越クリーンセンター収集事業	16,903千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	・鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業。 ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施。 ・清掃車両の整備及び管理。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・「声かけふれあい収集」及び狹隘路地区のクリーンステーション設置要望が、現在も増加傾向にあり人員、機材の確保が必要である。		
課題解決のための取組	・退職者不補充による職員数減少のため、収集業務の委託拡大を図った。 ・軽ダンプ車更新に伴い、廃車予定の車両を継続使用することとした。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	・引き続き「声かけふれあい収集」及び狹隘路地区のクリーンステーション設置等の市民要望の対応。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		今後退職者不補充による職員数減少のため、現在予定している戸別収集を計画する上で「声かけふれあい収集」、狹隘地区のクリーンステーション収集を含め収集体制を整え、安定した収集体制を確保していく。	課長等名
		③有効性 ○		↓	
		④公平性 ○		B	環境センター担当課長(名越) 遠藤 哲

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
名越クリーンセンター収集事業	1169	消耗品費	1,218	1,217	○	○	○	○
	1169	車両燃料費	8,550	6,321	○	○	○	○
	1169	車両修繕費	9,739	7,579	○	○	○	○
	1169	備品購入費	2,000	1,664	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							